

2024年度 安全衛生計画

株式会社ハンシン建設

代表取締役長		安委全員衛生長		総品質・管安理全部	
--------	--	---------	--	-----------	--

安全衛生方針	当社は人命尊重を基本理念として、 安全衛生活動を協力業者と共に推進し、 安全の確保と災害・事故の撲滅に取り組む。	安全衛生目標	<p>【基本目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 死亡・重篤災害をゼロにする。 <p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 墜落・転落災害をゼロにする。 ● 足場組立・解体作業時の災害をゼロにする。 ● クレーン災害をゼロにする。 ● 熱中症をゼロにする。 		
安全品質スローガン	摘み取ろう 災害の芽・不適合の芽 みんなで達成リスク“ゼロ”！				

重点施策	実施項目					目標
	作業員	職長	作業所職員	工事部門	総務・安全品質管理部	
墜落・転落災害の防止	墜落・転落のおそれがある作業箇所では、適切な墜落制止用器具の使用を徹底する。	墜落・転落のおそれがある作業箇所では、適切な墜落制止用器具の使用を遵守するため、確認・指導する。	墜落・転落のおそれのある箇所では、安全な作業床および手摺等を設ける。困難な場合は墜落防止措置（親綱等）。注意喚起の表示等を行い、適切な墜落制止用器具の使用を、確認・指導する。	安全衛生パトロールによる指摘を低減させる作業所支援・指導を実施する。 「災害防止基本事項」の教育とKY活動時の唱和による再確認の取組を指導する。	安全衛生パトロールにおける法違反・安全意識の欠如による指摘をなくすために作業所支援・指導を実施する。 6月・12月トップパトロール、強調月間特別パトロールを実施する。 熱中症予防運動の期間中は、「熱中症健康管理チェックリスト」による健康状況確認を実施する。 左記の実施事項について確認・指導を実施する。	労働災害ゼロ
足場組立・解体時の災害の防止	足場組立・解体作業は有資格者が実施する。 作業手順を遵守する。	足場使用開始前、足場組立後・一部解体・変更後・悪天候等後は点検を行い、点検者氏名を含め記録を残す。	足場使用開始前、足場組立後・一部解体・変更後・悪天候等後は点検を行い、点検者氏名を含め記録を残す。 新規入場者時に、資格の確認を行う。	リーフレットの掲示、災害事例集による安全教育を実施する。 指詰めKY活動実施状況を確認する。	左記の実施事項について確認・指導を実施する。	災害防止基本事項の教育実施及びKY時の唱和100%
クレーン災害の防止	ワイヤ・玉掛け用具は点検を実施して不良品を破棄し、適正なものを使用する。 作業手順を遵守し、玉掛け333運動を実施する。	つり荷を確実に支持できる用具及び方法の選定した作業手順を定め、作業員に周知するとともに遵守する。 玉掛け333運動を確認・指導する。	クレーン等の玉掛け作業について、作業計画書を作成し、作業員に周知するとともに遵守する。 玉掛け333運動を推進する。	左記の実施事項について確認・指導を実施する。		
指詰め災害の防止	危険な箇所に手を添えない、吊りワイヤー等を握らないことを徹底する。	日々のKY活動で指詰めKYを展開する。 単独作業にならないよう、適正配置と確認をする。	リーフレットの掲示、災害事例集による安全教育を実施する。 指詰めKY活動実施状況を確認する。	左記の実施事項について確認・指導を実施する。		
熱中症発生の防止	睡眠不足・過度の飲酒・朝食抜き・発熱など注意する。水分・塩分をこまめに補給する。各自、熱中症健康状況を確認する。	熱への順化期間（1週間程度）を設ける。 作業員の健康状態を確認する。適度に休憩を確保して連続作業時間を短縮する。	日々の暑さ指数（WBGT値）を把握する。 冷房完備や日陰で通風がよい休憩場所を設ける。作業員の健康状態を確認する。	左記の実施事項について確認・指導を実施する。		熱中症ゼロ
公衆災害の防止	作業着手前に、作業手順周知会を実施し、遵守する。 安全な運行経路を選定し、十分技能がある運転者を選任し、長時間運転を行わせない。	公衆災害防止の啓発活動を実施する。（公衆災害防止運動 6月・12月） 交通安全の啓発活動を実施する。（交通安全運動 4月・9月） 運転者適性診断の結果を再確認して、運転する。				公衆災害ゼロ
健康障害の防止	快適な作業所とするため、3S（整理・整頓・清掃）の実施する。 人員の体力、技能等に応じた配置、ムダを無くして効率化を図る。	高齢者が安心して働く職場環境（身体機能の低下を補う照明・段差解消・看板等）を整備する。 外国人労働者に対する安全指示の理解度確認及び外国語標示看板の設置を徹底する。 人員の適正配置やDXツールの活用により、施工の効率化や生産性の向上を図る。				過重労働による健康障害ゼロ

年月	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月	
強調月間 安全行事	交通事故防止	熱中症予防運動				墜落・転落災害防止	ストレスチェック	年末年始労働災害防止強調期間			年度末労働災害防止強調期間		
		定期健康診断		全国安全週間		交通事故防止	事業主研修会	トッパトロール		安全祈願祭			
		トップパトロール	公衆災害防止			クレーン災害防止	足場組立・解体時の災害の防止	事業主研修会	トッパトロール	安全祈願祭			